

令和3年11月15日

2021ダウム 日韓同性婚のための交 流の結果記録集



多様性に向かって持続可能な動き、ダウム



この結果物はソウル特別市の青年ハーブ2021国際交流協力の支援事業<グローバルソリューションラップ>の支援を受け制作されました。

目次



◦ プロジェクトの概要	2
◦ プロジェクトの遂行結果	5
◦ 交流結果のまとめ	12
◦ 結論及び活動の所感	21

プロジェクトの概要

「＜日韓の青年同性婚を夢見る＞」といった名前で支援事業に選定されたダウムの国際交流プロジェクトは如何にして始めたのでしょうか？プロジェクト及びプロジェクトのチーム員をご紹介します。

글로벌 솔루션랩



한일 청년 동성혼 꿈꾸다

다양성을 향한 지속가능한 움직임, 다움

韓国では依然として同性結婚が法制化されていません。事実、同じく保守的な家族観を持っている東アジア文化圏全般において同性婚の法制化はきわめて難しいことだと感じられてくるのが事実です。しかし、隣国である日本の札幌地方裁判所では令和3年の3月に同性婚を認めない現状が違憲であるとの判決が出ました。日本では如何にしてこのような進歩的な判決ができたのでしょうか。ダウムの疑問はここから始まりました。

ダウムはこのような判決の背景に組織された日本の市民の社会活動があったと把握し、日本の同性婚の活動団体や性的マイノリティの活動団体と交流をしたいと思います。特に青年団体なるダウムの立場ではこの流れにおいて20, 30代の青年はどのような役割を果たしたのかが気になりました。これを背景にし、似ている文化圏にある周辺のアジア国家である日本の性的マイノリティ活動と交流会を通じ、参考点を得たいと思いました。果たして日本の同性婚の活動の中で青年たちの役割は何だったのか、日本の性的マイノリティの青年はどのような期待と欲求を持っていたのでしょうか。

それで、日本の性的マイノリティの活動の悩みと経験を共有できる交流事業が必要だと判断し、また日本の経験から韓国でも参考できるようなものがあると考えました。特に日本の地域を中心としたある青年の性的マイノリティのコミュニティーと大衆文化、活動間の結合についての経験と悩むところでアイデアを得ることができると期待していました。”周辺の国家においてもこんな流れがあったんだな。わたしたちも？”といった視覚を持つことができるようになったり、似ている悩みを持った他国のひとたちに直接会う経験自体を通じて韓国の青年の同性婚の法制化への意志を刺激できると思いました。今回のプロジェクトを通じ、他国の建前として見える結果の中に隠された本音の熾烈なる悩みと生々しい経験を交流を通じて共有してみたいと思います。

最後にこの事業を韓国と日本のYouth LGBTのグループの間のネットワークを形成し、後続に出会いできるきっかけにしたいと思っておりました。今回の日本との国際交流はその始まりでございます。ダウムは長期的にアジア地域のYouth LGBT団体とのネットワークを形成し、周辺の国家との経験と戦略を互いに共有できるような繋がりを作り、社会活動に必要な有無形のネットワークと資源を確保していく予定です。このような協力関係はダウムがしていきたいと思っている社会活動が渋滞されず、絶えなく刺激され、進られる原動力になると思います。



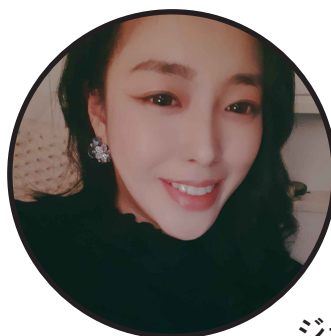
TF紹介！



ソンジン



ホヤ



ジェニ



トウンタン



ギヨン



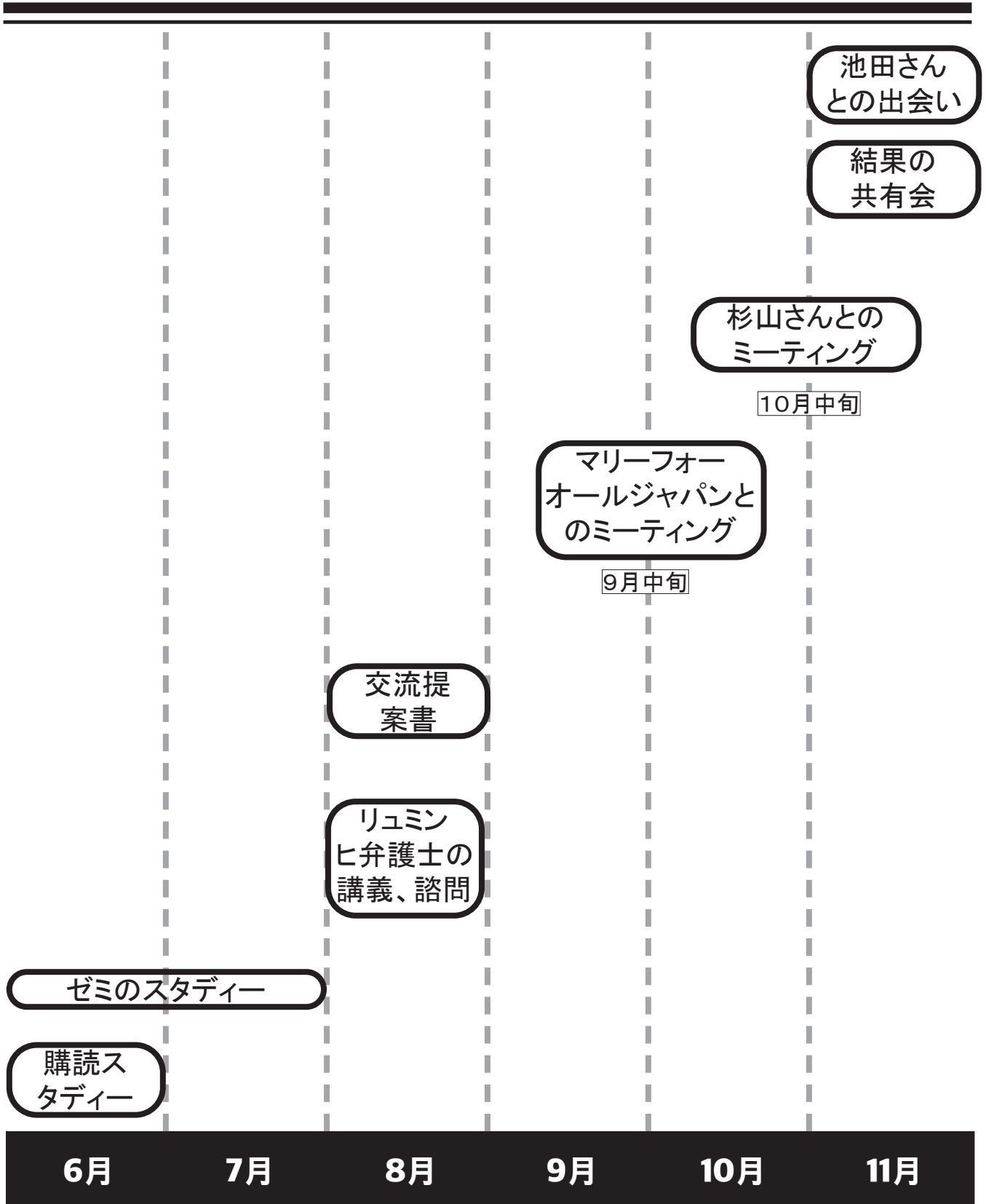
ヒョンジュン



つき
通翻訳を担当

毎週ミーティングと勉強を共にしてきたダウムのチームをご紹介します。わたちたちTFはダウムの同性婚のためのTFです。ダウム内部の会員たちの同性婚の法制化への欲求が集められ自然にTFとして構成されました。われわれTFのチーム員たちはソンジン、ギヨン、トウンタン、ヒョンジュン、ホヤ、ジェニ、つきでございます。ソンジンとギヨンはTFの総括を担当し、トウンタンは現状の実務及び、マリーフォーオールとの交流会の要約を担当しました。ヒョンジュンは提案書の作成とインタビューの企画、そして杉山さんとの交流会の要約を担当しました。つきは通翻訳を担当し、ホヤとジェニがグッズの業務を担当しました。

プロジェクトの遂行結果



準備段階！

ダウムの同性婚TFの疑問点は”札幌地方裁判所の判決”は如何にしてできたのかという質問から始まりました。しかし、この質問に答えるためには、先ず、札幌地裁判決は具体的に何だったについて知るべきでした。そしてこれからも日本の単体と交流会を進めるためにもスタディーもう多く行う必要がありました。

特に対面の交流ではなくオンラインの画面上の出会いであるため定められた時間の以内に豊富な話を交わすために私たちが事前に習得しなければならない情報が多く必要であると感じました。それで私たちは1番最初に勉強をすることにしました。

Japan court finds same-sex marriage ban unconstitutional

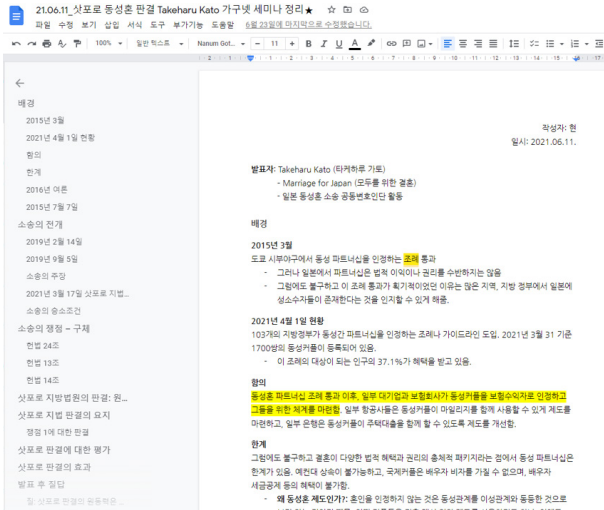
17 March



Supporters in Sapporo holding a banner that reads "unconstitutional decision"

三月の札幌地裁の判決についての言論の報道

とりあえず諮問を受けました。公益人権弁護士団体〈希望を作る法〉のリュミンヒ弁護士が韓国での性的マイノリティの家族構成権の保証のためのネットワーク〈ガグネット〉で活動しながら韓国の同性結婚のみならず全世界的な同性結婚の流れをよく知っていると存じ、諮問をお願いいたしました。結果的にリュミンヒ弁護士とは3回の諮問ミーティングを持つことになりました。1番最初のミーティングでは現在の日本社会と性的マイノリティーの活動について理解できるように大幅な概要を教えてくださいました。また2つ目のミーティングではダウム会員を相手にして日本の性的マイノリティーの歴史について詳細に教えてくださいました最後のミーティングにおいては交流会がすべて終わった後に私たちも結果を共有してまた今後どのようにダウムが国際交流を続けていけばいいかと、



일본 성소수자 운동의 현재

2021. 8. 4.

공익인권변호사모임 희망을만드는법 류민희
minhee.ryu@hopeandlaw.org

オンラインで一緒にスタディー、諮問を受けました

諮問と自体的な調査を通じて1つの団体と1人の活動家に会うかを決定しました。それは日本の同性結婚の活動団体であるマリーフォーオールと、東京プライドの共同代表である杉山さんでございます。



マリーフォーオール(Marry For All Japan)



杉山文野(Fumino Sugiyama)

2つの交流会を進める前に私たち内部的にも何回もスタディーを行いました。ほぼ毎週1回スタディーを行ったと覚えています。アメリカの”Lee Badgett”の<同性結婚は社会をどう変えるのか>など関連した本と一緒に購読しました。そしてとてもいい機会がありました。ちょうどマリーフォーオールの加藤弁護士が<ガグネット>の招待で札幌地方裁判所の判決の進行過程と内容について講演に来てくださったのです。

ダウムの同性婚TFもすぐに申し込み参加いたしました。TFのジュンから講演の内容をよくまとめていただきこの内容を背景にして内部スタディーをもう一回行ったりしました。杉山さんの場合インターネットを検索してみたら、数多くインタビューと記事がありました。これを基盤にして事前調査をしました。

交流会の提案及び日程の調整！

交流会をもっと慎重に提案するために提案書もいちいちデザインして内容も何回検討して送りました。こころがよく伝えたのかは知らないけど初めて提案のメールを送った時すごく震える気持ちで連絡を申しあげました。果たして私たちと出会ってくれるのかな？団体の紹介はどのくらい詳細に書くべきか。私たちのことを気にしてくれるのかな、私たちだけ日本の活動家を気にしているのではないか、いろいろな思いがしてました。それで私たちの団体は何をしている団体なのか、なぜこ



入念に作り上げた交流提案書

私たちの事業の進行のタイムラインが決まっているから、思ったより互いの日程を調節するのが難しかったのです。しかしマリーフォーオールからも、杉山さんからも喜んで時間を割って頂きました。マリーフォーオールでは4人杉山さんは2人が一緒に参加してくださいました。このように提案書を作り送って日程を互いに調節し出会うだけで1ヵ月がかかりました。

そしてこのように日程をとりながらも、この行事を通訳してくれる人を熱心に探しました私たちは性的マイノリティーの人権について関心があり、このイベント自体にも関心がある青年の通訳と協業したいと思ってたからです。ちょうど大学で日本語を専攻して私たちのイベントに関心を持った通訳の方と連絡ができました。それが今このイベントにかかわっているつきさんです通訳と翻訳においてつきさんが大きな役割をして、イベント自体に対する理解度が高かったので一緒に仕事をするのが円滑にできました。

グッズ作り！

交流会を進めながらめったにない国際交流のイベントであるから記念品を作りたかったです。それでマリーフォーオールと杉山さんに送る記念品すなわちグッズをつくりました。

どのようなものを送ればいいのか考えて自体的にデザインした傘と同性結婚のキャラクターのステッカーを製作することにしました。傘はレインボーを連想して関係があると思って製作を決定することになりました。この時ホヤさんが手数をかけてくれました。

傘とステッカーを包んでマリーフォーオールと杉山さんの事務所へ直接郵便局の海外宅急便を利用して送ることになりました。よく受け取ったとの連絡が届きました。少ないものですが9月10月の出会いを覚えていただければ幸いです。



ダウムから制作したラビズラブの傘です。四つの面に韓国と日本の伝統の結婚の衣装を着た同性カップルが描かれています。

マリーフォーオール、杉山さん、池田さんとの出会い。!

そして待っていた交流会9月15日にマリーフォーオール、10月13日に杉山さんに会いました。2時間と言う短い時間の間、様々な疑問を解消しなければならなかったわけで出会いはすごく密度のある状態で行われました。時間を節約するためにダウムの団体の紹介及び発表をするときには通訳をせず、あらかじめ準備しておいた日本語の字幕を通じて通訳に代わりました。このように密度のある進行ができたのは2つの交流会に臨んだ日本の活動家の方々がとっても親切で誠意のある答弁をくださってできたのではないかと考えております。

画面上だけで話し合いをすることになり名残惜しかったんですけども、あまりにもラッキーでマリーフォーオールの池田様と韓国で拝見できる機会があり11月13日に直接伺い、いろいろな話を交わすことができました。時間を割っていただいた池田様にもう一度感謝を申し上げます。詳細な内容は次のチャプターで共有申し上げます。



韓国での結果共有会の行い！

韓国の市民たちと日本との交流会の内容を共有するのがためオンラインズームとオフラインスタジオでの参加を並行し、結果共有会を11月6日に行いました。今回は特別にウェディングプランナーで活動しているガラムさんがパネルとして登場し共有会の2幕を担当しました。韓国で今後どのように同性婚の必要性を社会的に明らかにするかについて話し合う意味深い時間でありました。



“同性カップルに対する専門的なウェディングプランナーと言う職業はどうやって決定しましたか”に

結果集の製作！

そして待っていた結果集の製作。今見てらっしゃるこの結果記録集もTF員たちがパートを分担して書いております。

結果のまとめ

長い準備の時間をかけていよいよ交流イベントを行いました。9月15日と10月の13日各々マリーフォーオール、杉山文野さんと会うことができました。2時間の間すごく様々な話をしました。いちど見てみましょうか。

9月15日マリーフォーオールとの出会い！

9月15日少しは遅い午後7時マリーフォーオールとズームでお会いすることになりましたマリーフォーオールは日本の代表的な同性婚の活動団体です様々な国と同様に同性婚法制化に必要な活動のために弁護士の方々も参加しています。今年3月にあった札幌地方裁判所での結婚の効果を同性カップルに与えないのは違憲であるとの判決を出せることができた訴訟またマリーフォーオールの活動でした。この日マリーフォーオールとの交流会では加藤さんと池田さんとそして青年のインターンだった土居さんなど4人の方々が参加されました先にダウムを紹介してホヤさんとトゥンタンさんが”自分が同性結婚を望む理由”についてエピソードを発表する時間を持ちました。この後マリーフォーオールの4人から各々マリーフォーオールについての紹介、マリーフォーオールの多様な活動と社会政治的な環境、青年世代とのつながりについて共有してくださいました。

私は同性結婚がしたい - エピソード共有
나는 동성결혼이 하고 싶다 - 에피소드 공유

Ttung-ttang

Ho-ya

Dawoom - Marriage For All Japan Meeting

“私は同性婚がしたい”トゥンタンさんとホヤさんが直接エピソードを紹介してくれました

マリフォーオールを紹介及び発表！



マリフォーオールの組織図を具体的に見れば2人の代表がいらっしゃいます。代表のもとに各チームのリーダーがいてこのリーダーたちがチームの活動を率います。各チームはPR、訴訟の支援、イベント、同性婚の関連情報を一般の市民に伝える情報の発信、企業連携企業と連携するアドボカシー、グローバルリサーチ、HR、資金運営等のチームで構成され、各チームは互いに連携されています。1か月に1回はすべてのチームが参加するミーティングを開き団体の活動方向を決めています。

マリフォーオールはセクシュアリティと関係なく全ての人が結婚を選択することができる社会を作ろうと言うビジョンを持って作られた組織です。マリフォーオールと言う名前は‘Marriage for All Japan’すなわちすべての人のために結婚制度を修正していきたいという意味が含まれています。マリフォーオールのミッションは、結婚の自由をすべての人にといった裁判をサポートすることによって先に裁判所を通じた結婚の平等同性婚を実現することで、2つ目は立法部である国会を通じてレポートで同性婚を達成することです。3番目は世論の換気です。一般人に同性婚の問題とか例えば結婚ができないと言うことによって同性カップルが直面する問題について言うことで同性婚を支持する世論を引き上げようとしています。

マリフォーオールの構成員は弁護士が中心メンバーで1番多いけれども以外にもPRやメディアの専門家、映像の専門家、学生のインターン等を含めて30人ぐらいで構成されています。一部給料をもらって活動するメンバーもいますが、基本的にほとんどのメンバーはボランティアとして活動しています。活動のための資金は個人あるいは様々な団体と企業の寄付をもらいつつ、海外の様々なLGBTの活動を支援する団体に志願して、基金をもらって運営しています。様々な団体が会える場を作ってミーティングを運営し他の団体の意見を聞いたりマリフォーオールの活動に支援と協力を求めています。

マリフォーオールの1番目立つ活動は結婚の自由をすべての人と言う裁判でございます。2019年2月16日に全国の4つの都市の裁判所において裁判を始め今は1時の年で裁判を進行しています。今年3月に札幌地方裁判所で同性婚が認められないのは憲法違反だと言う判決を出すことができました。

マリフォーオールでは社会開発のための活動も行っております。海外の同性婚の活動家と一緒に参加するイベントを主催したり、ピンクダット沖縄のような性的マイノリティのイベントのセッションにも参加しました。様々な夫婦の形があるから男と女だけが夫婦になれるのではなく男と男女と女そしてこれと異なる性も十分結婚できるという事を広報するために11月22日いい夫婦の日と指定しキャンペーンを行いました。今後同性婚が法制化されたら同性間の結婚式がこのような方式で行われたらいいなあと言う希望を込めて制作した男性カップルの結婚式のビデオを制作したりしてました。

マリフォーオールでは企業の支援が増加することになれば政治界も動きかけとなれると思って企業連携を進めています。例えば、メルカリといった有名な中古の引き取りサイトを運営する日本の企業にマリフォーオールの代表さんが企業の社員たちに昼ごはんを食べる休み時間に同性婚の問題について説明会を開いたり、国際的な企業を中心に同性

婚をサポートする外国系の企業を集め同性婚に対する活動と同性婚のための試みをいかにするかについて意見を交わす説明会を主催しました。いま business for marriage equality を支持する企業は9月15日を基準にして178(11月15日を基準にしては199)の企業が賛同しておりこの中ではGoogle、IBMといった大きな外国系の企業や三菱ケミカルやSHISEIDOなど日本の大企業も賛同しています。

マリーフォーオールでは企業の支援が増加することになれば政治界も動ききっかけとなれると思って企業連携を進めています。例えば、メルカリといった有名な中古の引き取りサイトを運営する日本の企業にマリーフォーオールの代表さんが企業の社員たちに昼ごはんを食べる休み時間に同性婚の問題について説明会を開いたり、国際的な企業を中心にして同性婚をサポートする外国系の企業を集め同性婚に対する活動と同性婚のための試みをいかにするかについて意見を交わす説明会を主催しました。いま business for marriage equality を支持する企業は9月15日を基準にして178(11月15日を基準にしては199)の企業が賛同しておりこの中ではGoogle、IBMといった大きな外国系の企業や三菱ケミカルやSHISEIDOなど日本の大企業も賛同しています。

マリーフォーオールでは企業の支援が増加することになれば政治界も動ききっかけとなれると思って企業連携を進めています。例えば、メルカリといった有名な中古の引き取りサイトを運営する日本の企業にマリーフォーオールの代表さんが企業の社員たちに昼ごはんを食べる休み時間に同性婚の問題について説明会を開いたり、国際的な企業を中心にして同性婚をサポートする外国系の企業を集め同性婚に対する活動と同性婚のための試みをいかにするかについて意見を交わす説明会を主催しました。いま business for marriage equality を支持する企業は9月15日を基準にして178(11月15日を基準にしては199)の企業が賛同しておりこの中ではGoogle、IBMといった大きな外国系の企業や三菱ケミカルやSHISEIDOなど日本の大企業も賛同しています。

最後にマリーフォーオールは国際団体との交流したり国際機関での発表するグローバル連携に力を注いでいます。東京レインボーパレードで行進したり1年前にはニューヨークのレインボーパレードでマリーフォーオールのプラカードを持って行進する活動をしました。ニューヨークのレインボーパレードに参加した時ニューヨークにある裁判所でアメリカのLGBTQのグループの方々と交流できて、また弁護士国会議員の事務所でLGBTのチームと共に交流するイベントをしました。2019年ソウルで開催されたILGA(International Lesbian and Gay Association)アジアコンファレンスでも同性結婚関連のセッションを行いました。

マリーフォーオールは同性婚の活動を広く様々な人に知らせるために同性婚をテーマにして様々なイベントを行いました。コロナ禍においてオフラインのイベントが難しいためオンラインでゲストを招待したり、日本の憲法記念日に憲法学者著名な学者と有名人を招待して一般人の関心を呼ぶようなイベントを行ってきました。それ以外アメリカの同性婚裁判をないようにした映画の上映会を日本各地で行い、同性婚に対する関心を喚気させ大丈夫総会を通じて日本で実際に同性婚が設立できるかと言う質問に答えるイベントを持ちました。そして団体や企業とか一般市民が支援をしますがこのような支援金をいかに活用しているかまたこれからどのように活用するのかについての説明会を持ち、YouTubeを通じて対外活動を進めております。

このようにイベントをいくつか開催してまた都会と地方での同性婚に対する温度の差があるということを考慮しています。パートナーシップの制度が拡散されつつありますがそれがすぐに同性婚の法制化まで続けられないと判断しているということです。同性婚法制化までの過程がまだ残っており、特に同性カップルに対する嫌悪が地方でまだ少なくないため地方での活動もこれからの主な課題と考えられます。



これ以外ダウムから質問した事項についても答弁をしてくださいました。池田様に個人的な意見として答えられた内容の一部を紹介したいと思います。

Q. 日本の同性婚の活動と性的マイノリティの社会的政治的な状況をどう捉えていますか。

まず日本の同性婚の活動と関連した歴史的な説明を申し上げたいと思います。2015年アメリカの最高裁判所で同性婚が成立された。こと他の国での同性婚に対する動きが活発だったこと等の影響を受け日本でも2015年に大きな動きと意識の発展がありました。1番目としてSexual Orientation and Gender Identity, SOGI差別禁止法の制定活動なんです、この行動は2015年国会で進行されていました。2番目として、日本の弁護士連合で同性婚ができないのは人権の侵害であるとの結論に至ったと言う事なんです、結論が出るまではかなり時間がかかったため一部の人員が別の道として結婚の自由をすべての人にとり争う裁判を進行させる。これが後に設立されるマリフォーオールの前身となりました。このように2015年に異なる2つの動きがありました。

のように国会での差別ぼうに対する論議、結婚の自由をすべての人と言う裁判各少し異なる時間を置き共に進行されました、このように2つの路線、状況が並行されていることこの文脈を理解する事はマリフォーオールの状況を理解することにごく大事であると言っていました。

Q. 日本の同性婚の活動はどのような人が参加されているのですか。

まず原告がいます結婚の自由をすべての人に裁判の原告の方々一言に言えば同性婚ができなくて困っている方々が参加されています。2番目としては弁護士連合で同性婚を認めないのは人権に反すると主張された加藤さんのような弁護士と法律関係者の方々です。この方々が裁判に関係されたりマリフォーオールの重要な活動をされています。3番目は池田さんのような以前からLGBT関連の活動をリードした活動家として国会議員たちにロビーや自分たちの意見を伝える役割をされています。

現在同性婚の法制化のために希望を言っている方々は前の3つのグループが中心となりますが、これ以外にも様々な方々が参加や支援をしています。具体的にLGBTIや同性婚の問題に関心を持っているメディアの関係者、そしてビジネス系の方々も参加をし始めました。これに加え一部の学者の方々、学術に従事される方々と有名な芸能人の方々も声を出してくれているということです。

10月13日 杉山文野様との出会い！

杉山文野さんは日本女子フェンシングの国家代表チームで活動をされた前職フェンシング選手であり、トランス男性の人権活動家であります2006年に自分の物語を書いた本の出版とともにカミングアウトしてその後2013年からは東京ライド共同代表で活動され、2015年渋谷区の同性パートナーシップ条例の導入に中心的な寄与をされました。ダウムは杉山さんに会い、ダウムを紹介し、杉山さんから東京prideの企画と運営、日本のサブカルチャーの中の性的マイノリティ、青年層の経験と当事者としての杉山さんの経験についてお聞きいたしました。

これからの活動は？ 앞으로의 활동은?

研究結果を基に、青年性的マイノリティの特異性を発掘
연구 결과를 기반으로 청년 성소수자 특이성 발굴

定期的な研究調査を行い、若年性的マイノリティに対するデータセットを確保
정기적인 연구조사를 수행하고 청년 성소수자에 대한 데이터 세트 확보

性的マイノリティの若者の欲求を政策化し権益を代弁する活動
청년 성소수자 욕구를 정책화하고 권익을 대변하기 위한 활동

活動入門の機会を広げ、定期的な教育を実施して青年世代の再生産
활동 입문의 기회를 넓히고, 정기적인 교육을 진행하며 청년 세대 재생산

35歳まで

Dawoom - Fumino Sugiyama Meeting

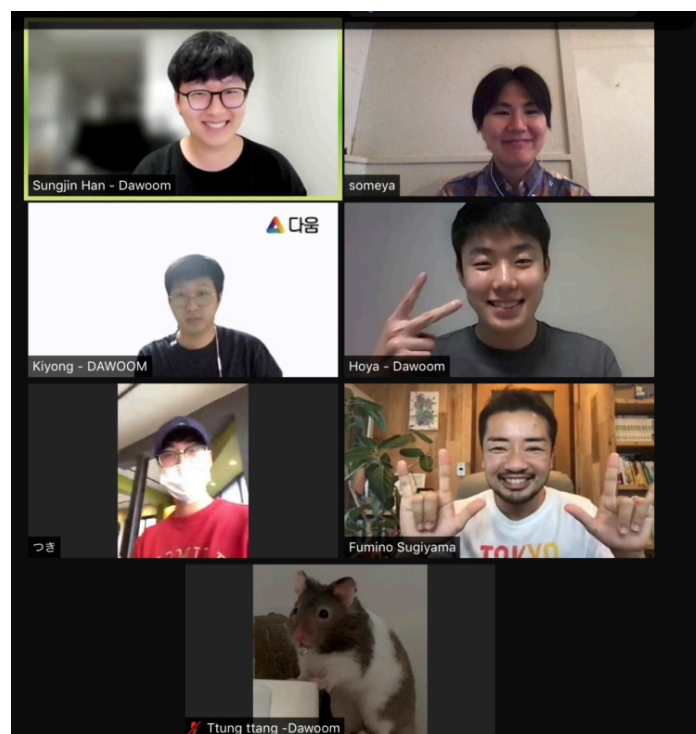
ソンジンさんがダウムについて紹介しました

東京プライド

杉山さんが東京レインボープライドを始めた時、一番大きな悩みはいかにして東京プライドのハードルを低くして性的マイノリティーを可視化するかでした。それで既存のプライドパレードが頭に紐を巻いて人権を主張するデモの形であって重い雰囲気だったら、杉山さんは東京プライドをより楽しいフェスティバルとして形を変えより多くの人々の参加を誘導しようと試みました。究極的に9割の当事者たちに性的マイノリティーを可視化しないと社会が代えられないと見たからです。性的マイノリティーの当事者よりはアライが核心だと判断したのです。

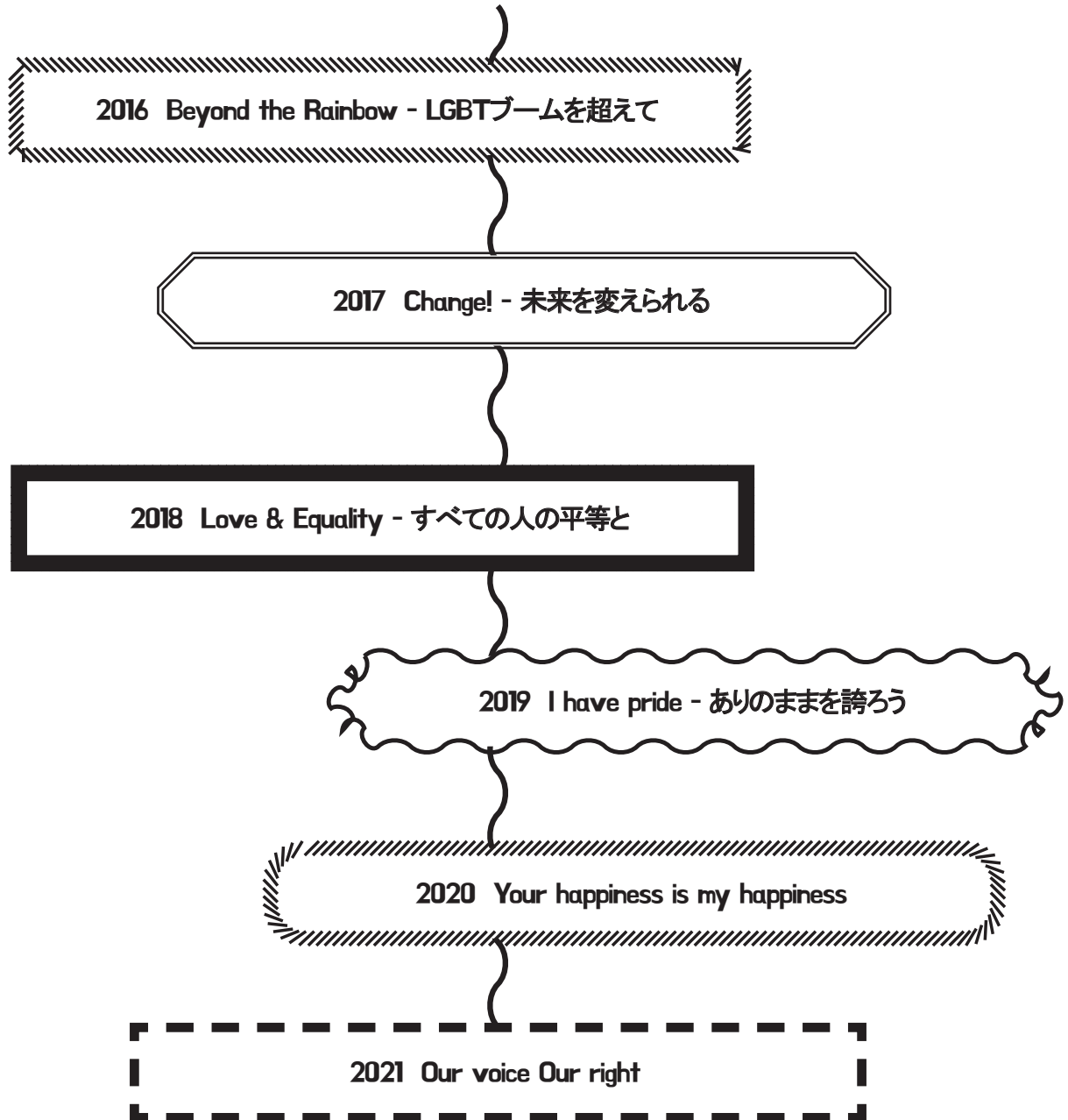
このようにプライドパレードは重さよりは楽しい雰囲気を造成して、アライを引き入れてアライに発言の機会をあげるとして当事者たちに接近しようとしてきました。プライドで企業の応援を確保し浜崎あゆみみたいな有名の歌手がコンサートに参加し、日本で誰もが知っているような芸能人を招待しました。またアメリカ大使などを含めた外国の大使も多く参加されました。このようなフェスティバルの雰囲気への変化は実際に相当な成果を上げることができました。2012年には約5000人だった参加者の数が2019年には200,000人に増え、オンラインで行われた2020年のプライドパレードライブには約450,000人が参加するに至りました。

コロナパンデミックの以後2020年のパレードをオンラインで行いましたが、接近性と参加者数が急増しパンデミックの以後にはオンラインとオフラインのイベントを同時に行いたいと言うことです。地方に住まれる方が参加したりオンラインパレードには連れてくるのが難しかった親とともにオンラインでパレードに参加するなど様々な長所があると紹介してくださいました。これ以外にもオンライン上でYouTubeでより多くのコンテンツを発信しアウトリーチをしようと計画中だと言うことです。



杉山さんがキャプチャーしてくれたミーティングの写真です。お会いできてうれしかったです。

東京プライドの議題とメッセージ



杉山さんは東京プライドのスローガンとメッセージが毎年状況に合わせて少しずつ変化してきたと東京プライドの多様なスローガンと頭のスローガンを選択した背景について説明されました。スローガンの変遷史を通じて日本のLGBTQの活動のフォーカスの変化を見せようとしているのではないかと思います。政治的議題を出すイベントに参加するのを控える日本の文化があるため接近性と拡張性を考慮し同性婚の代わりにEqualityと言う単語を使用する決定などが興味深かったです。



2016年にはLGBTブームを超えてと言うスローガンを出しましたが、このスローガンを使用した理由は15年度に渋谷区で同性パートナーシップ制度が設立されたため社会では”ああ、今LGBTがブームだね”という言葉があったからだと言いました。それでプライドパレードではLGBTが15年度に急にブームになったのではなく、いつでもそばにいてこれからもいるだろうと言うことを知らせたいと言う旨でスローガンを決めたと言うことです。

2017年には未来を変えられると言うchangeをスローガンとして選びました。15年度16年度には上述したように話題となりましたが、現実はそのそんなに多くは変化しなかったことに気づきました。それで日常生活で、学校で、職場で現実をしっかりと変えていこうと言う心を込めてこのスローガンを決めたと言うことです。

2018年にはすべての人の平等と言うスローガンを使用しました。これは18年度から人々が同性婚をより広く認識し始めたからです。日本では政治的議題を上げるイベントには参加を控える傾向があるため同性婚を議題にしたら参加者数が少なくなると懸念し、同性間を前提しながらも、このような議題を少しは隠すためEqualityといったスローガンを選択しました。

2019年にはLGBTQライブ活動の原点だったストーンワール反乱の50周年と東京レインボープライドの25周年を記念するために、”ありのままを誇ろう”をスローガンにしました。

2020年にはコロナが広がったため多くの人々が辛かった時期でした。誰かは幸せでも私は幸せじゃないと言う心が広がったため、私の幸せはあなたの幸せですと言うスローガンを掲げました。LGBTQだけ限定せず全ての人々が幸せに済ませる社会を夢見ようと言う考えを込められたそうです。

2021年のテーマは声を上げて世界を変えようという議題を表すOur voice, our rightsをスローガンに使用しました。これまでの可視化を通じてLGBTQに対する議題が多く出たんですけども、同性婚がまた成立されないなど実際の変化があまりないと言う部分もあって声を出して、世界を作るルールを変えなければならないという意味を込められたと言うことです。

日本の日常的文化の中の性的マイノリティと青年の性的マイノリティの議題への参加

杉山さんはまず日本では性的マイノリティ特にトランスジェンダーが文化的に受け入れてきたと説明してくださいました。例えば男性が女性を演技する歌舞伎と女性が男性を演技する宝塚は日本の独特な文化です。また大衆文化的にもマツコ・デラックスなど性的マイノリティのコメディアンが登場するテレビジョンのプログラムや企業のコマーシャルも多いし、国民的にも人気のある男性の俳優がトランス女性を演技して話題になりました。トランスジェンダー Commentator カミングアウトして本を書き女性として賞をもらった大企業の部長など、多様な領域での性的マイノリティを日常的に接することができます。もちろん2015年前までは性的マイノリティを番組や夜の飲み屋さんでしか見ることができなかつたと思われましたが、渋谷区の同性パートナーシップ制度の導入以後には自分の周りでも性的マイノリティがいるということを実感している様子だとおっしゃいました。

大学社会の場合主要大学にはLGBTの団体とGSセンターがあるけれどもこれは学生が提案して施行しているということでした。各大学別に活動があり大学同士で連帯して東京プライドにブースを出したりします。また大学生のみならず高校生たちも当事者ではなくともボランティアに来たり、先生がクラス全員を同伴してくる場合も見ることができると言うことです。ただ大学生はまだ結婚が遠いと感じられるため大学生よりは20代後半や30代はじめの青年たちが同性婚のメッセージの発信に対しもっと強い熱望を持っていると言って下さいました。

杉山さんはまた過去と現在の活動の形や態度が異なってきたと説明します。青年の場合、当事者と非当事者のみんなが自分なりにボランティアをしたりティックトックなどソーシャルメディアで自分の意思を明かす人もいて熱情的に活動する青年もいる反面、性的マイノリティに対する差別が消えたと認識して最初から関心がない青年もいると説明されました。既存の活動家たちが自分たちが感じた弾圧と悲しみを後の世代は感じてほしくないと言うことで活動したんですが、今の青年時代の一部がもう差別はないと感じて関心がなくなり嬉しいけれどもそれでも既存の活動家の歴史を知ってくれば良いと言う心もあるとお

っしゃいました。

渋谷区同性パートナーシップ条例の導入

渋谷区で同性パートナーシップ条例が導入されたのは2015年なんですけどこれは急に進行されたのではなくて15年も前のことだと言うことです。渋谷議会に同性パートナーシップを提案した長谷部健との高校生の時の俺がどのようにして同性パートナーシップ制定に寄与したのかについて説明されました。長谷部さんとは掃除のボランティアであい互いに顔を知っていたと言うことです。長谷部さんが同性パートナーシップ制定に関心を持つようになったきっかけはダブルハピネスの出版の後杉山さんに会いたかった性的マイノリティの当事者たちが掃除のボランティアに参加した時だと言うことです。

この時長谷部さんが性的マイノリティが多いということを知った主要なきっかけになったと言って下さいました。皆さんはこの時自分に会いたかった性的マイノリティの人々をお掃除のボランティアに招待したのは戦略的ではなく友達を助けようと言う単純な理由からだと言うことでした。社会を変えようと決心した1人が旺盛に活動するのも大事なんですけれども、友達を助けようといった小さな1歩もすごく重要だと1人の人が100歩を頑張るより100人が一方ずつ力を出すのが重要だと言うことを説明されました。

これを出発点にして日本人口の約4割が居住する130の自治体で同性パートナーシップの証明書を発給していると言うことです。

家族構成

杉山さんは女性の恋人と一緒に2人の子供の親であり、知人であるゲイの活動家の精子をもらって子供を持ったと言うことです。日本では2004年に制定された性同一障害特別法によって生殖器を除去しないと性別訂正ができない状況でありまして、現在恋人1人がシングル母として子供を育てていて俳優者としての権利を互いに享受することができないと言うことです。同性カップルなど多様な家族とその人たちの子供のために特別法と同性婚制度と一緒に変化させるのが目的だと言うことです。

結論

最後で今回の日本の性的マイノリティの活動家と交流会の意味を捉える前に国際交流だと言うこと自体の意味を捉えて次に進めたいと思って短く書いてみたいと思います。

ダウムは国際交流を大事だと捉えております。ダウム自体が国際イベントであるILGA ASIAコンファレンスを契機に作られたからです。ILGA ASIAはILGAすなわち国際性的マイノリティ協会のアジア支部です。ダウムはこのコンファレンスに参加して多くの国々で青年層が再生産の意味であり、資源の貧弱さであり、活弁なる活動生であり、いろんな意味で大事に扱われ性的マイノリティーの人権のために青年たちも自ら活弁な社会活動することを大事に思っていると言う事実気づきました。これまで持続可能な人権の活動に関心があったダウムの初期のメンバーたちがそのような現像に感銘を受けダウムを設立することになったのです。

国際交流は私たちが属している社会を外部の観点からもう一度眺めるようにさせます。社会活動的にも、方法論的にも新しいモチベーションをくれたり内容的にも私たちが気づかなかったところを自覚させるきっかけになります。そして私たち社会の特徴がもっと明徴になったりします。文化的にも規範的にもこの社会が持った資源と見解を具体的に知ることができたりします。

今回の日本との交流を通じて韓国は同性婚自体が法制化されるのは特定の宗教や政治人たちによる組織的な反対によって難しい環境なんですか、性的マイノリティーの中で同性婚を十分に政治的な争点として作ったと言う事、同性婚を社会的にキャンペーンとして扱っている拠点の団体がもう存在してその歴史が長いと言う資源も存在すると言うことに気づきました。その反面文化的に性的マイノリティの人権について公然に支持するインフルエンサー芸能人政治人など公人たちがもっと多くなる必要があり、企業や文化的にもそのような社会的支持があまりにも足りない現実だと言うことにも気づきました。性的マイノリティに関連した漫画やドラマや映画作品ももっと多く試みることができる環境が必要だと思いました。

そして多くの方々が同性婚の法制化について一緒に主張してくださることを望んでいます。同性婚の合法化と言及をする政治人もいますが、同性婚は韓国で不法ではありません。ただ今まで同性間の結婚が認定されず、同棲パートナーシップが全然認定されていないから同性カップルは市民権的に低い水準の認定を受けています。私たちが必ず結婚をしなければならないことでは無いんですけども、もし、結婚をしたいと言う同性カップルがいれば結婚が選択肢になれるようにするためには同性婚をを成功させる必要があります。私のパートナーが互いに対し完全なる家族的権利を持つことができるようにより多様な家族が認定される社会になれるためには同性婚に対する認定は不可欠であります。このような主張を韓国社会様々なところに伝えることができるのなら、変化はもっと早く近づいてくるでしょう。今回の交流会とこの結果の共有が韓国の同性婚の活動を刺激し私たちがもっと積極的に活動に出るきっかけになることを望んでおります。

ダウムの同性婚TFはこれからも韓国の同性婚の法制化のために努力しようと思います。そして日本とのネットワークも続けて維持し来年のパンデミックの状況が終わったら直接日本に訪れ、もっと多い話を聞き、生々しい交流を続けていきたいと思っています。そしてこのような国際交流を背景にしてより多くの国々の性的マイノリティーの単体として青年団体とも交流を作っていきたいと思ってます。これからもより良い活動を通じて韓国社会の変化を作っているダウムに応援と関心をお願いいたします。



11月中に過ぎし記憶を鑑みながらこれからの活動について話してみましたこれからの活動楽しみにしてください

活動の所感



TFの活動の所感ホヤ

こんにちは同性婚TFのチーム員ホヤです。私と私のパートナーは韓国で7年目の恋愛をしております。私たちカップルは時間が過ぎれば過ぎるほど恋人を超え人生のパートナーとして一緒にしたい。すなわち結婚の欲求が生まれました。それでダウムで進行される様々な事業の中で同性婚のTFが自然に目に入ってきました。それでダウムの会員としてはじめての活動を同性婚TFで始めることになりました。私は同性婚TFで日本の団体に送るグッズの関連の業務を担当することになりましたグッズの選定、デザイン、メーカーの選定、注文まで担当することになりました。そして仕事を進めるためにダウム内のデザインチームと会計チーム。そして、グッズの製作メーカーと直接疎通し、様々な協業で仕事を進めました。このような業務を私は初めてやってみますが、興味深かったし、大切な経験でした。これからも他のTFでもグッズ関連の業務を務めることになったらこの経験を基盤にして仕事を進める勇気ができました。

今回のTF活動をしながら記憶に残った部分はマリフォーオール団体との交流会で韓国の性的マイノリティーの青年の同性恋欲求エピソードの発表の部分でした。私と私のパートナーは互いに結婚したいんですけども、韓国は同性婚の法制化ができなく

なっているため、現実から目を背け、どうしようもなく諦めていたようです。しかしこのエピソードの発表をするために同性婚に対する話をパートナーと深く話合うことになり、同性婚ができない現実を直面しましたそれで私たちが直面しているこの現実がどんなに差別的で不合理なのかについて認知することになりました。この現象を打開したいと思って日常的に様々な国の同性婚の法制化の例を探ることになりました。アメリカの同性婚の法制化の例、台湾の法制化の例など、様々な国々を探して勉強しました。そして日本のマリフォーオール、杉山さんとの交流をしながら、隣国である日本のLGBTの人権活動と同性婚での札幌地方裁判所の判決の例、そして、日本のパートナーシップ制度など、様々なケースを見て勉強になりました。

同性婚のTF活動を通じて同性婚の法制化に対する知識、そして人権に対する私の力量などすべての部分で成熟になれました。そして専門家ではないんですけども、いかなるところ、いかなる状況の中で同性婚の 이슈があれば、私の考えを発言して行動できる力を養いました。またGSL日韓同性婚の交流会以後にはどのような議題を韓国の社会に適應できるのかと言う悩みができました。これが私たちに残った宿題なのではないかと思います。今回の経験を原動力にし、韓国が同性婚の法制化に成功するその日まで熱心に頑張ってください。¥

私のはじめてのTFの活動であったため心配半分期待半分だったんですか、TFが終わりつつある今考えてみればすべてのことが美しかったです。ダウム活動のはじめての道しるべになった同性婚TFが私の人生の中で一生忘れられない本当に大切な経験を送ってくれました。最後にTF活動し私の足りない部分も起きない応援して下さった代表を含め私たちTFチーム員たちに感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。



TF活動の所感トウンタン

こんにちは同性婚TFのチーム員であるトウンタンと申します。TF活動しながら多様なスタディー資料の調査。そして、直接日本の同性婚の活動に肯定的な力を補ってくださった方々に会い、話をしながら様々な考えをすることになりました。

まず、1人の個人として恋する人と堂々に夫婦として

TF活動所感ソジン

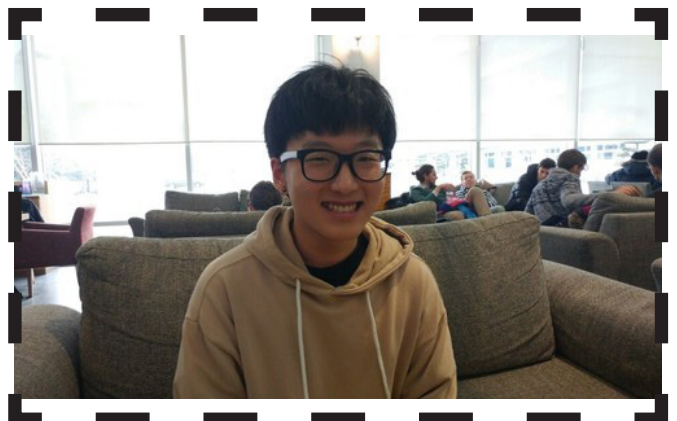
遥かなヨーロッパとアメリカでの進歩とだけ認識していた同性婚が台湾の同性婚の法制化より今年札幌地方裁判所の進歩的な判決まで隣国の便りで近づいてきたから、生まれた刺激で今回のプロジェクトを仲間たちと始めることになったんですが、初めに予想したより多いものを得ることができた国際交流でした。

交流のための事前の準備とスタディー、実際にマリーフォーオールと杉山さんに会って韓国での同性婚の活動を振り返ることができた事は今後よりダウムが私たち世代の平等な結婚のためにどのような活動ができるかについて楽しい想像ができるようにしてくださいました。このような創造を共有する私たちTF員たちが一緒にいることにも力を得ることができました。

いつも資料集をまとめる前に活動の所感を作成するときには、過ぎしプロジェクトの遂行期間中、頭をか

生きていこうと言う確固なる意地と確実に同性婚ができる未来が来るだろうと言う確信を得ることができました。また、ダウムの一員として個人より1つの組織で動くのがより多い影響力が持てるということを感じました。そして、その中で私の役割について考える機会になりました。同じ目標を持って議論して時間を送って、他のTF員の方々と所属感を得て活動家になって一緒にしたいと言う意地ができました。最後に日本の同性婚の活動について学びながら我々がこれから何をすべきか韓国の状況に代入して実現させることができる事は何かがあるかについて考えて、一緒に議論することができました。

世の中は遅いけどゆっくり変化しています。その変化を率いる人々と一緒にすることができ、嬉しかったです。そして私もこれからの世の中を変化させる力を持った人になるように努力していきたいと思っています。私たち、これからも遅いけどゆっくり世の中を変化させる力になりましょう。



すめた感情と接した記憶館が浮かんできて胸がいっぱいになってくるのです。ただ今回の活動での感情が特別なのは今回の活動が終わりではなく、始まりであるからだと思います。

隣国である日本での性的マイノリティの人権と同性婚のために熱心に活動される方々と浅いけれども互いに支持して遠くでも応援し合う連結された感情をまた感じる事ができました。今回の交流活動では惜しくも画面上だけで接触しました。来年には必ず日本を訪問し機会になればダウムからも招待したいです。うれしく挨拶を交わすことができるその時までがんばり、日本と韓国両方同性婚が成立するよう祈願します。



TF活動所感ジェニ

私は今回TFに参加していつも悲観的な思いで非婚を出張した私の考えに大きな変化が生まれました。

ダウム団体の会員の方々の個人的な話を聞き日本と一緒に同性婚の法制化のために一緒に話合う過程で、私の心の中でいつも流していた何かが起きてしまったみたいです。

ダウムがするこんな努力たちが私個人にこのような影響を与えた事と同じく数多くの個人たちにも影響を与えて、この社会が少しずつ暖かく変わっていくことを祈願します。

TF活動所感ギヨン

国際交流の大切さをもう1回自覚することができた時間でした。日本との交流を通じてより鮮やかに韓国の同性婚の活動を見つめることができたのではないかと思います。刺激も受けながら、モチベーションも多く受けました。韓国でも文化的にLG BTが多く可視化され政治的にもより多くの進展があることを望んでいます。

同性婚を議題化してその必要性を知らせる活動の過程で多い学びも必要でした。また同性婚がしたいと思っている人々が自分の欲求を具体的に見つめる時間も必要でした。この過程でチームたちと大事な時間を多く持つことができたと思います。一緒にできる仲間たちができてうれしいです。

私も結婚したいです。いい人が現れたら。いつか韓国で同性婚ができる日が来るように！



TF活動所感ヒョンジュン

私は今回同性婚の交流活動に参加したのが初めてのダウムでの活動でした。初めて活動することであってなれなかったし、私の力量の不足のためにミーティングに参加できなかったことが何回かありました。ソンジンさんとTF員たちのおかげで活動についていけたと思っています。

私は今回同性婚の交流活動に参加したのが初めてのダウムでの活動でした。初めて活動することであってなれなかったし、私の力量の不足のためにミーティングに参加できなかったことが何



回もありました。ソンジンさんとTF員たちのおかげで活動についていけたと思っております。

アメリカで勉強する私が生きている世の中の片面では、友達が私に自分の同性の恋人を自然に紹介して、トランスジェンダーに対する尊重とフェミニズムがあまりにも当然にされています。しかし、私の生きている世の中の反面ではフェミニズムと関連していたことを理由に職場で解雇され、性的マイノリティーが不当な待遇に遭い、死に立たされています。片面では進歩が相当に進展され反面ではまだ進展していない状況です。私の経験と同じく日本の同性婚の活動を接しながらも同じ世の中で2つの領分された世界が共存する違和感を感じる事ができました。

しかしこのような世界的違和感と不調和こそ変化を可能にすると思えます。ほかの国家で市民たちが成し遂げた成就を見た時そのような成就の可能性を確信することになり、その驚異さは忘れられない動機となります。掃除のボランティアで知ることになった知人との縁から始まり、渋谷区の同性パートナーシップ制度通過につながる杉山さんの旅程。そのように成就された同性パートナーシップの動力で同性婚を認めないと言うのは違憲であるとの地方裁判所の判決を出せたマリーフォーオールまで技術的に学べる部分も多いけど、差別禁止法の論議が継続延期されるこの暗黒の時間での忘れられない動力を得

た感じですよ。

プロジェクトをしながらカントがフランス革命と進歩について著述した作文を思い出しました。カントはフランス革命について論じ革命を眺めて感じた強烈なる思いを表現します。

もう私は特別な予言力なしでも我々時代の面々と徴候従い我々時代の完成を予見する。

具体的に私はより良い未来に向かってても不可逆的になってしまった進歩を予見する。これぐらいの現象すなわちフランス革命は人類して忘れられないからである。

はなはだしく、この事件そのうちフランス革命と連結し理解のできる目的が今すぐ成就されないとしても、国家的の憲法改革と革命が最終的に霧散されても、この哲学的予言は1つの力さえも失う事は無いのであろう。この事件はあまりにも重要視人類の利益と、あまりにも絡み合っていて、その影響は世界にあまりにも広く伝播され適切な機会があるたびに思い出さないことはない。単純に1人の人民が遭う事件のみならずこのような事件に漸進的に参加することになる全人類の力量を目に置いている人にこの事件は推測のできない痴漢の可能性を現れせしむる。

互いに異なる空間にいる人々が互いの進歩と成就を共有した今回の国際交流で、私は推測のできない時間が可能性を現わせたと思えます。



다양성을 향한 지속가능한 움직임, 다움

제작	다움 동성훈 TF
지원	서울특별시 청년허브
Homepage	dawoom-t4c.org
e-mail	dawoom@dawoom-t4c.org